



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：内相の車列に対する爆弾テロ（報道まとめ）

9月5日、カイロ東部のナセルシティーで、走行中のイブラーヒーム内相の車列を狙ったと見られる爆弾テロが発生した。爆発で、内相の警備員を含む20数名が負傷した。爆発については、車爆弾である、あるいは爆弾を投げたなどの諸説が報道されている。爆発した車の運転手が死亡したとの報道もあり、現場で何が起きたかについては、まだ報道が混乱している。同爆発の後、現場で内相を殺害しようとした2人を警察官が射殺したとの報道もある。

7月はじめにエジプト軍がムルスィー前大統領を解任した後、治安部隊とムルスィー支持派の間での衝突が激化したが、今回のような爆弾テロ事件あるいは政府要人の暗殺未遂事件は発生していなかった。今回の事件に関してまだ犯行声明は出ていない。ムスリム同胞団幹部は、同事件を非難している。

カイロでは2005年4月に繁華街エル・フセイン地区で、外国人観光客を狙った爆弾テロが発生している。中東調査会のデータでは、この事件後、カイロ市内で爆弾テロ事件は発生していない。爆弾テロ事件が多いのは、シナイ半島である。2004年10月には、タバのヒルトンで爆弾テロが発生している。同半島では、その後も小規模の爆弾テロ事件が断続的に発生している。2011年以降、シナイ半島の天然ガス・パイプラインは10回以上爆破された。

最近では、7月24日、カイロの北のダカハリーヤ県マンスーラにある治安機関の建物前で、真夜中に爆弾が爆発、19人が負傷した事件が発生している。

（中島主席研究員）